

総

務常任委員会

大川インテリア振興センターの取り組み

視察日：平成28年5月30日(月)～6月1日(水) 視察先：福岡県大川市・山口県萩市 出席委員5名・欠席委員1名

大川インテリア振興センターは、基幹産業である木工産業が低迷し、長期不況の様相を呈してきたことから、木工関連製造業が持つ優れた体質・多様性を生かし、インテリアの総合産地となることを目指し、業界と行政によって第3セクターとして創設されました。同センターでは「事業者の方々にビジネスの環境の提供」、「大川を広くPRする」という2つを大きな柱として、新商品・新技術の開発支援、展示支援、大川インテリアの魅力を伝える電子書籍の作成、国産材の活用支援、木工職人養成の仕組みづくり、全国の高等学校を対象とした次世代育成事業、公共建築物等への木工活用の提案に取り組んでいました。

次に、萩市では、平成13年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された浜崎地区の「浜崎しっ

委員長 風野和視 副委員長 大山和則
委員 林悦子・高田重雄・相田一良・増田豊

ちよる会」の活動について視察研修を行いました。会の活動としては、古民家再生施設の活用・管理や地域のお宝探しと、そのお宝を広く紹介するイベントの開催、国指定史跡の旧萩藩御船倉を活用したコンサート、ボランティアガイドの育成などを行っており、住民と行政が協力し合ってまちづくりが進められていることを強く感じました。



大川インテリア振興センター

文

教厚生 常任委員会

認定こども園での取り組みと休日保育

視察日：平成28年5月25日(水)～27日(金) 視察先：大阪府豊中市、箕面市 出席委員5名・欠席委員1名

豊中市では、就学前の教育・保育を一体的に行う「豊中市立幼保連携認定こども園全体計画」を策定し、公立幼稚園、公立保育所26施設すべてを幼保連携認定こども園として運営しています。視察した「豊中市立東豊中こども園」は、保育所からこども園になった施設です。こども園では、生後6ヵ月から就学前の子どもを受け入れています。現在定員140名のところ149名の受け入れをしており、入園児全員が保育を希望する園児であり、運営はスムーズに行われています。

次に、箕面市の施設一体型小中一貫校「とどろみの森学園」では、インターネット回線を通じたビデオ通話サービス「スカイプ」を活用した国際交流事業を行っており、ニュージーランド・ハット市と国際協力都市提携を締結し、常時接続したテレビモニターでハット市の子どもたちと気軽にコミュニケーションがとれる環境が構築されてい

委員長 萩原剛志 副委員長 谷田部由則
委員 潮田新正・小林正紀・小高友徳・菊池伸浩

ました。このスカイプを利用して、低学年から英語教育に使われる一方、児童みずから外国とのコミュニケーションを積極的にとる児童が増えているとのことでした。

さらに「多文化交流センター」では、ハット市の戦争記念館と接続されており、市民の間でもより自由な国際交流が期待されているとのことでした。



豊中市立東豊中こども園

委員会報告

視察報告特集

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

建

設経済 常任委員会

今号は建設経済 常任委員会に注目



鈴木裕一 委員長



市村 香 副委員長



増田 昇 委員



飯島重男 委員



仁平 実 委員



櫻戸和也 委員

加工品開発した農産物の先進的6次産業の取り組み

視察日：平成28年5月25日(水)～27日(金) 視察先：福岡県うきは市・長崎県佐世保市
出席委員6名

うきは市の「JAにじ」では、規格外品トマトを有効活用するためトマトスープ専用規格を定め、生産者からの買い取り価格は、1キログラム80円として、平成27年度は販売価格1食114円から140円で36万食を生産し、売り上げは3,400万円とのことでした。トマトスープの商品化が、農商工の連携や地域活性化に貢献し、新規栽培者や後継者が増加しており福岡県から優秀賞を受賞しています。今後の課題としては、携帯食や防災保存食などにも活用できるような市場の開拓が必要とのことでした。

次に、佐世保市では、「有害鳥獣対策」について視察しました。イノシシによる農作物の被害は、全体の88%であり、防護対策として、電気柵、ワイヤーメッシュを設置して対策を講じています。また、有害鳥獣捕獲従事者は、11猟友会で291名、平均年齢は63歳であり、イノシシの捕獲状況は、箱わなが6,044頭、くくりわな669頭、銃では220頭となっています。猟友会への捕獲年間委

託費は1,877万円、捕獲報奨金としてイノシシの成獣捕獲は1頭当たり1万3,000円となっています。一方、狩猟免許取得者に対する助成は、わな猟免許、銃猟免許講習会費各1万円を定額補助し、県と連携し捕獲担い手の技術指導を実施しているとのことでした。



JAにじ (福岡県うきは市)